

(1) 29年度の学校評価

本年度の重点目標	1 より深く考え、より豊かに表現する力を育むため、授業の改善を図る。 2 多忙化や多忙感を解消するため、業務の効率化を図る。 3 保護者、地域、異校種、企業、海外等との連携や交流による教育を進める。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務課	PTA活動、同総会活動の充実(重点目標3)	PTAや同総会の活動を通じた教育の充実	PTA理事会や同総会理事会において生徒との関係を密にし、より積極的に活動できるようにする。
学習指導課	<ul style="list-style-type: none"> 授業の質の向上 家庭学習の充実(重点目標1) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観、研究授業、授業アンケートの実施 「予習→授業→復習」の学習サイクルの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニングの研究を実施する。 評価基準を生徒に示すことができるように、各教科で評価の方法を具体的に構築する。 学習サイクルを具体的に示し、自ら学ぶ態度を育成する。
生徒指導課	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導の充実(重点目標3) いじめ防止対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全講話の充実 集会等での啓発活動 PTAとの連携の充実 いじめの早期発見、適切な事案対処 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の現状をふまえた安全指導を通して、事故件数の減少を目指す。 PTAと連携しながら、生徒一人一人の交通安全意識が向上するよう働きかける。 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法を検討し、実態把握を徹底する。 担任等が抱え込むことのない、組織的な対応を徹底する。
進路指導課	夢をいだき、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実(重点目標1、3)	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標の設定 補習、模試の実施 的確な進路情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 進路LT、探Q、進路講演会を更に充実させ、生徒の進路・進学意識を高め、生徒の積極的な学習への取組を促す。 担任会・学年会との連携を密にし、全職員一体となった進路指導を推進する。
保健指導課	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な健康管理の習慣づけ 校内美化の徹底 教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 保健委員会の活性化 美化委員会の活性化 職員とカウンセラーの連携、健康観察の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保健だより等を活用し生徒の健康意識を高めさせるとともに、家庭との連携を図る。 日常清掃と学年清掃の徹底と花壇の整備など美化委員会活動を充実する。 カウンセラーとの連携や緊密な家庭連絡などを通して、教育相談活動を進める。
生徒会課	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事の活性化 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事への積極的参加を促す。 部活動の充実とその成果の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事に於いて、全校生徒への参加・協力などの呼びかけを積極的におこなう。 活動環境、条件の整備を図り、成果につなげたい。
図書研修課	図書館利用の拡大	<ul style="list-style-type: none"> Noahを利用したスピーディーな貸出・返却・蔵書点検等業務 図書委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だよりを活用したり、図書委員の自主的活動を促して、本に親しむ機会をつくる。 知的探求の場・安らぎの場としての雰囲気づくりに努める。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活3年間の礎となる、基本的な生活習慣 学習習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との積極的なコミュニケーション 授業や部活動、学校行事への積極的な取組 	学力の向上と、社会に出るために必要な資質を身に付けさせる。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 学校の中核として活躍する生徒の育成 日々の学習にも真摯に取り組む生徒の育成 授業の重視(重点目標1) 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や学校行事への積極的な参加 進路目標を見据えた学習 	部活動や行事で中心となって活躍させる。65分を充分活用した、密度の濃い授業を実施する。生徒一人一人が、自らの進路を意識した日々の学習に取り組ませる。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対して真剣な姿勢で取り組ませる。 上級学校の先にある将来像の具現化 	<ul style="list-style-type: none"> 競い合う仲間であると同時に、励まし合える仲間としての意識を育成する。 生徒・保護者・教員、それぞれが密なる双方向コミュニケーションをもち、共に考える。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	本年度の重点目標である「授業改善」「多忙化解消」「外部連携」に加え、学校いじめ防止基本方針に基づく「いじめ防止」への取組を主な評価項目とする。学校評価委員による直接評価を行う。		

(2) 28年度の学校評価

前年度の 重点目標	1 学力の向上を目指す学習指導の充実 3 自主性や社会性を育む特別活動の充実 5 信頼され期待される学校づくりの推進 本年度は「Ⅰ 授業改善への継続的な取組」 「Ⅱ 課外活動の充実と効率化の追求」 「Ⅲ 情報モラル教育への積極的取組」を特に意識して学校教育を行う。		2 夢を実現させる進路指導の充実 4 心身の健康に恵まれた生活基盤の確立
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務課	学校見学会のさらなる充実 (重点目標5)	分掌との連携により資料や、DVDの見直しを図り魅力ある内容としたい。また参加生徒の指導を図っていきたい。	分掌との連携と編集がスムーズにそしてより魅力ある資料とDVDが出来たと思われる。中学生のアンケート評価でも最も参考になったのは学校紹介(DVD)と答えた数字が75%となった。
学習指導課	授業の質の向上 (重点目標1) 家庭学習の充実 (重点目標2)	・授業アンケートの実施 ・授業参観 ・研究授業 ・予習、授業、復習の徹底を図る。	・新任研、5年研、10年研等で研究授業が実施され、他教科の授業の参観が多く行われた。 ・授業アンケートの結果が、個人へのフィードバックで終わっている。 ・課題等をこなすだけに学習時間を多く取られている生徒がいる。再度65分授業の受け方、予習・復習の方法を、特に学習面で悩んでいる生徒を対象に具体的に示していきたい。
生徒指導課	家庭と連携したスマートフォン・携帯電話の安全な利用方法(重点目標5)	・集会等での啓発活動 ・PTA総会・理事会での家庭におけるルールづくりの依頼	生徒へは、集会等を通して繰り返し指導した。また、「江南高校スマートフォン・携帯電話の利用4原則」の徹底にむけてPTA総会や理事会を通して連携を呼びかけた。 来年度以降も継続していきたい。
進路指導課	夢をいだし、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実 (重点目標2)	・進路目標の設定 ・補習、模試の実施 ・的確な進路情報の提供	各学年で進路・進学意識の高まりが見られた。土曜教室・補習・3年特講とも充実した内容で実施できた。結果として3年生の進路では、難関大合格者数が増加(名大17、阪大1)、国公立合格者数も157を数え、生徒の夢の実現に寄与できた。
保健指導課	自主的な健康管理の習慣づけ 校内美化の徹底 (重点目標4) 教育相談の充実 (重点目標4)	・保健委員会の活性化 ・美化委員会の活性化 ・職員・カウンセラーとの連携 健康観察の実施	・保健日より、学校保健委員会の発表がしかりでき、掲示物による啓蒙活動もできた。 ・日常清掃・環境美化活動を通して美化意識を高められた。職員・カウンセラーと連携し、保護者・生徒の教育相談が充実したものになった。 ・健康観察により、生徒の心と体の把握をし、早めの対処をできるようにしたい。
生徒会課	学校行事・部活動の充実 (重点目標4) 各種委員会の活性化	・執行部の主体的な活動の促す。 ・部活動の充実を図る。	・学校祭の各企画において計画的な準備がなされ、多くの情報収集するなど創意工夫がみられた。 ・各部活動の環境や条件を整備を図っているが、それを成果につなげたい。
図書研修課	電子図書管理システムの本格的稼働 図書館利用の拡大	・Noahを利用し、貸出・返却・蔵書点検などの業務を行う。 ・図書委員会の活性化	Noahを使つての貸出返却は、PCが古いためしばしばフリーズしたが、操作上の問題点はなかった。バーコードリーダー・ノートパソコンが入ってからは、蔵書管理の効率は飛躍的に高まり、蔵書点検も効率的にできた。しかし工事の関係もあり、来館者数貸出数は減り図書離れは進んでいる。図書委員会は新企画に積極的に取り組んだ。
第1学年	高校生活3年間の礎として、基本的な生活習慣を築き学習習慣を定着させる (重点目標1)	生徒との積極的なコミュニケーションを図る。また、授業や部活動、学校行事に積極的に取り組ませる。	高校生らしい端正な身だしなみを維持できた。学習だけでなく、部活動・行事に対しても積極的に取り組ませることができた。
第2学年	学校の中核として活躍し、日々の学習にも真摯に取り組む。 何より授業を大切にす。 (重点目標1)	・部活動や学校行事への積極的な参加 ・進路目標を見据えた学習	学校の中核としての行動は学校行事や部活動でも見られた。また進路に対する関心も芽生え、それに伴って学習姿勢も前向きになった。より高い目標を掲げ、さらに努力させたい。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現 (重点目標2)	・学習に対する真剣な姿勢 ・上級学校の先にある将来像の具現化	学力については言うに及ばず、周囲に対する気遣いや忍耐力など、受験期にこそ養うことができる人間力を身に付けることができた。ただ、主体性などまだ伸ばすべき要素はある。
総合評価	Ⅰ 学校評議員による授業参観を実施し、外部による授業評価を行った。 Ⅱ 効果性の高い教育活動のあり方について改善の余地がある。 Ⅲ 学年主任者会への校長の定例参加、及び教育支援委員会の定例実施は達成できた。 進路実績が過去最高の数値をだし、地域の期待に応える学校に成長しつつある。 学習・進路指導の更なる充実を図っていくなければならない。		

